

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	43	1	事務事業名	商工団体支援事業		細事務事業名	商工団体支援事業		公的関与	9	シート作成日	平成31年6月14日		
	課名	商工観光課		グループ	商工		担当課長名	横江兼光		シート作成者名	小池 貢				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	政策目標	5 豊かで活かに満ちたやとみ				実施計画	事業の開始・終了							
		施策項目	商業の振興				<input checked="" type="radio"/> 1 該当	年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	近代化・魅力的な商業活動の促進				<input type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等		弥富市補助金等交付規則					
	個別計画														
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)									
		市内商工業者				弥富市商工会に対して助成を行うことにより、市内中小商工業者の指導育成を促進し、その経営の改善を図ります。									
事業の内容	弥富市商工会の事業(経営改善普及事業・地域振興事業等)に、補助金を交付します。商店街の環境維持を図るため、街路灯の維持管理費の助成を行います。														
成果指標	①	指標名	商工会会員数												
		指標設定の考え方	市内の商工業の振興を目指す観点から、商工会会員数を指標とします。						単位	名					
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度							
	実績	744	実績	740	目標	※	目標	760	実績		実績		目標	※	目標
	目標	800	目標	※			目標		目標	※			目標		
DO	予算費目	会計	一般会計				款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額			
		国・県支出金		千円				千円				千円			
		地方債		千円				千円				千円			
		その他特定財源		千円				千円				千円			
		一般財源		25,896 千円				24,215 千円				千円			
	計(A)		25,896 千円				24,215 千円				0 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.050 人				0.050 人				人			
				345 千円				345 千円				0 千円			
		臨時職員工数・経費		人		0 千円		人		0 千円		人		0 千円	
全体事業費(A+B)		26,241 千円				24,560 千円				0 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	商工業者の育成や振興を図り、活力ある商業地を目指すうえで、商工業者への経営改善指導及び地域振興事業の活性化は必要です。		<input type="radio"/> はい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	商工会の支援は、商工業者の育成、経営改善や振興につながり有効です。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	商工業者への巡回指導等、経営改善指導にはある程度成果は上がっていますが、地域振興事業では新たな取り組みを行う必要があります。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない			<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	商工会は経営指導員により、商工業者の相談及び経営指導等を行っており、商工業者の経営安定・強化を図る上で効率的です。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A
今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持		<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 4 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 民間委託等						
	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定		<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統合/終期設定 <input type="radio"/> 廃止/休止						
当面の課題	人材不足・後継者問題等を背景に、全国的に既存商店等が衰退している中、商工会で新たな取り組みを行うことにより商工会事業の拡張を図り、新たな会員を増やしていくことが必要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)					
課題解決のための改善計画	商工会を支援することにより、経営指導員の巡回指導等において会員以外の商工業者にも積極的に訪問をし商工業の振興を図ります。 さらに、商工会は平成29年3月、経済産業大臣より経営発達支援計画の認定を受けました。この計画に基づく事業も行き、小規模事業者の減少に歯止めをかけるため、伴走型支援を実施し小規模事業者の持続的発展につなげ地域の振興を図ります。					商工業者特に小売業者等については、大型量販店の進出及び後継者不足等により活力が低迷しているが、商工会活動を支援するとともに商工業振興資金制度等を積極的に推進する必要があります。					
備考											